

# 認定調査員向け e ラーニング ～令和7年全国テストより抜粋～

---

青森県健康医療福祉部高齢福祉保険課

## 問1 【5-1薬の内服】

薬の内服がない(処方されていない)場合について、正しいものはどれですか。(ただし不適切な状況にはないものとします)

1. 薬が処方された場合を想定して、本人の能力で選択する
2. 薬が処方された場合を想定して、適切な介助の方法を選択する
3. 介助が発生しないので、「介助されていない」を選択する

## 問2 【2-1移乗】

正しければ○誤っていれば×を選択してください。

本人に移乗の能力があるにも関わらず、介助が行われている場合は、「常に」不適切な状況と判断して適切な介助の方法を選択する。

1. ○
2. ×

### 問3 【2-4食事摂取】

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

1日3食で、通常は介助なしで行っている。ただし、毎日朝食の際は、最初の数口は、介助者が口まで食事を運んでいる(ただし、不適切な状況にはないものとします)

1. 介助されていない
2. 見守り等
3. 一部介助

## 問4 【2-2移動】

「移動」について正しいのは、どれですか。

1. 常時の付き添いの必要がある見守りが行われているため「一部介助」を選択する
2. 車いすへの移乗に一部介助が行われているので移動も「一部介助」を選択する
3. 外出行為について、移動の基本調査項目の選択では評価しないが、介助が行われているため特記事項に記載する

## 問5 【2-5排尿】

基本調査でどの選択肢を選択すればよいですか。

1日の中で、昼間に6回程度、介助なくトイレで排尿している。夜間の2回程度は、ポータブルトイレを利用して介助なく排尿しているが、ポータブルトイレの後片付けは家族が朝一括して行っている。

(ただし、不適切な状況にはないものとします)

1. 介助されていない
2. 見守り等
3. 一部介助

## 問6 【調査について】

調査員の役割として、不適切なものはどれですか。

1. 申請者の状況を極力正確に審査会に伝達する
2. 基本調査項目の選択で迷う場合は、特記事項に記載する
3. 基本調査項目の選択の確定など、一次判定のすべての責任を負う

## 問7 【有無(過去14日間にうけた特別な医療)】

特別な医療について、正しいものはどれですか。

1. 継続して実施されているもののみを対象としている
2. 医師の指示が過去14日以内に行われているものに限定される
3. 調査対象者や家族、介護者から情報を得る以外にも医療機関などから情報を聞くことも必要である



## 問8 【評価軸】

次のうち、評価軸の解釈に基づいた調査で正しいものはどれですか。

1. 「能力」で評価を行う基本調査項目は「できる」か「できない」かを中心に調査を行うことが重要である
2. 「介助の方法」で評価を行う基本調査項目は、具体的に介助が「行われている-行われていない」かを中心に調査を行い、その介助の適切・不適切について判断してはならない
3. BPSD関連の「有無」で評価を行う基本調査項目は、「日常生活上の支障が発生している」か「発生していない」かを中心に調査を行うことが重要である

## 問9 【要介護認定の基本設計】

認定調査票の特記事項は、どのような時に利用されますか。

1. 一次判定の修正・確定
2. 一次判定の修正・確定と二次判定
3. 二次判定

## 問10 【3-4 短期記憶】

面接調査の直前に何をしていたか思い出すことの確認が難しい場合に行う、「ペン」「時計」「視力確認表」を使った短期記憶の確認について、適切なものはどれですか。

1. 見えないところにしまって5分以上してから2つ答えられるかを確認する
2. 見えないところにしまって5分以上してから3つすべてを答えられるかを確認する
3. 見えないところにしまって5分以上してから2つを提示し提示されていないものについて、答えられるかを確認する

## 問11 【1-4起き上がり】

福祉用具(補装具や介護用品等)や器具類を使用している場合の評価について誤っているのはどれですか。

1. 補装具を使用している場合は、使用している状態で評価する
2. ギャッチアップ機能がある電動ベッドの場合は、この機能を使って評価する
3. 常時ギャッチアップの状態にある場合は、その状態から評価する

## 問12 【2-3えん下】

「見守り等」の選択基準として、正しいのはどれですか。

1. 実際に見守りが行われていることを必須とする
2. いつも「声かけ」を行っているので「見守り等」を選択した
3. 「できる」「できない」いずれにも含まれないと考えられたので「見守り等」を選択した。

## 問13 【5-3日常の意思決定】

基本調査でどの選択肢を選択すればよいですか。

日常生活状況のもとでも、意思決定がほとんどできないが、見たいテレビ番組やその日の献立に関する意思決定をすることがある。

1. 特別な場合を除いてできる
2. 日常的に困難
3. できない

問14 【過去14日間にうけた特別な医療  
(レスピレーター(人工呼吸器))】

「レスピレーター(人工呼吸器)の有無」の評価について、正しいものはどれですか。

1. 急性期対応の一時的なものも該当する
2. 医師の指示が過去14日以内に行われた行為のみが該当する
3. 経口・経鼻・気管切開の有無や機種は問わない

## 問15 【4-6大声をだす】

「大声をだす」の特記事項の記載について、最も重要なものはどれですか。

1. 大声で言っていることの具体的な内容を記載する
2. 日常生活上の支障を記載する
3. 介護の手間と頻度を記載する



## 問1 【5-1薬の内服】

薬の内服がない(処方されていない)場合について、正しいものはどれですか。(ただし不適切な状況にはないものとします)

1. 薬が処方された場合を想定して、本人の能力で選択する
2. 薬が処方された場合を想定して、適切な介助の方法を選択する
3. 介助が発生しないので、「介助されていない」を選択する

## 問2 【2-1移乗】

正しければ○誤っていれば×を選択してください。

本人に移乗の能力があるにも関わらず、介助が行われている場合は、「常に」不適切な状況と判断して適切な介助の方法を選択する。

1. ○
2. ×

## 問3 【2-4食事摂取】

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

1日3食で、通常は介助なしで行っている。ただし、毎日朝食の際は、最初の数口は、介助者が口まで食事を運んでいる(ただし、不適切な状況にはないものとします)

1. 介助されていない
2. 見守り等
3. 一部介助

## 問4 【2-2移動】

「移動」について正しいのは、どれですか。

1. 常時の付き添いの必要がある見守りが行われているため「一部介助」を選択する
2. 車いすへの移乗に一部介助が行われているので移動も「一部介助」を選択する
3. 外出行為について、移動の基本調査項目の選択では評価しないが、介助が行われているため特記事項に記載する

## 問5 【2-5排尿】

基本調査でどの選択肢を選択すればよいですか。

1日の中で、昼間に6回程度、介助なくトイレで排尿している。夜間の2回程度は、ポータブルトイレを利用して介助なく排尿しているが、ポータブルトイレの後片付けは家族が朝一括して行っている。

(ただし、不適切な状況にはないものとします)

1. 介助されていない
2. 見守り等
3. 一部介助

## 問6 【調査について】

調査員の役割として、不適切なものはどれですか。

1. 申請者の状況を極力正確に審査会に伝達する
2. 基本調査項目の選択で迷う場合は、特記事項に記載する
3. 基本調査項目の選択の確定など、一次判定のすべての責任を負う

# 解答

問7 【有無(過去14日間にうけた特別な医療)】  
特別な医療について、正しいものはどれですか。

1. 継続して実施されているもののみを対象としている
2. 医師の指示が過去14日以内に行われているものに限定される
3. 調査対象者や家族、介護者から情報を得る以外にも医療機関などから情報を聞くことも必要である

## 問8 【評価軸】

次のうち、評価軸の解釈に基づいた調査で正しいものはどれですか。

1. 「能力」で評価を行う基本調査項目は「できる」か「できない」かを中心に調査を行うことが重要である
2. 「介助の方法」で評価を行う調査項目は、具体的に介助が「行われている-行われていない」かを中心に調査を行い、その介助の適切・不適切について判断してはならない
3. BPSD関連の「有無」で評価を行う基本調査項目は、「日常生活上の支障が発生している」か「発生していない」かを中心に調査を行うことが重要である



## 問9 【要介護認定の基本設計】

認定調査票の特記事項は、どのような時に利用されますか。

1. 一次判定の修正・確定
2. 一次判定の修正・確定と二次判定
3. 二次判定

## 問10 【3-4 短期記憶】

**解答**

面接調査の直前に何をしていたか思い出すことの確認が難しい場合に行う、「ペン」「時計」「視力確認表」を使った短期記憶の確認について、適切なものはどれですか。

1. 見えないところにしまってから5分以上してから2つ答えられるかを確認する
2. 見えないところにしまってから5分以上してから3つすべてを答えられるかを確認する
3. 見えないところにしまってから5分以上してから2つを提示し提示されていないものについて、答えられるかを確認する

## 問11 【1-4起き上がり】

福祉用具(補装具や介護用品等)や器具類を使用している場合の評価について誤っているのはどれですか。

1. 補装具を使用している場合は、使用している状態で評価する
2. ギャッチアップ機能がある電動ベッドの場合は、この機能を使って評価する
3. 常時ギャッチアップの状態にある場合は、その状態から評価する

## 問12 【2-3えん下】

「見守り等」の選択基準として、正しいのはどれですか。

1. 実際に見守りが行われていることを必須とする
2. いつも「声かけ」を行っているので「見守り等」を選択した
3. 「できる」「できない」いずれにも含まれないと考えられたので「見守り等」を選択した。

## 問13 【5-3日常の意思決定】

基本調査でどの選択肢を選択すればよいですか。

日常生活状況のもとでも、意思決定がほとんどできないが、見たいテレビ番組やその日の献立に関する意思決定をすることがある。

1. 特別な場合を除いてできる
2. 日常的に困難
3. できない

問14 【過去14日間にうけた特別な医療  
(レスピレーター(人工呼吸器))】

「レスピレーター(人工呼吸器)の有無」の評価について、正しいものはどれですか。

1. 急性期対応の一時的なものも該当する
2. 医師の指示が過去14日以内に行われた行為のみが該当する
3. 経口・経鼻・気管切開の有無や機種は問わない

## 問15 【4-6大声をだす】

「大声をだす」の特記事項の記載について、最も重要なものはどれですか。

1. 大声で言っていることの具体的な内容を記載する
2. 日常生活上の支障を記載する
3. 介護の手間と頻度を記載する